



株式会社 越谷レイクタウン観光バス SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 生井 正夫

SDGsの達成に向けた取り組み

貸切バスという移動手段提供と地域貢献で『未来に繋がる社会』を実現していく

- 当社は吉川市を拠点とし、旅行、送迎、クラブ活動、イベント等の用途に対し、主に子どもたちやご高齢の方々に対し『お客様の移動をより安全で快適なものにする』ことを使命に、貸切バス事業を行っています。
- 今後も、安全・安心を第一に考え、誠実なサービスでお客様の満足度を高め、貸切りバスという移動手段を通じて『未来に繋がる社会』を目指していきます。
- そのため、有事の際（事故、災害、急病人発生、他）の対応マニュアル充実化と対応訓練の実施、社員の救命講習受講率の向上を行っていきます。
- また、地域の子どもたちを対象とした『職場見学やバス体験イベント』を実施していくほか、様々な地域貢献活動へ積極的に取り組んでいきます。

【指標】

有事の際のマニュアル作成数/従業員の救命講習受講率 ⇒ 2030年 7件/100%
 職場見学、バス体験イベント等の実施回数 ⇒ 2030年 2回/年
 地域の活動、地域貢献への取り組み数 2025年 3種類 ⇒ 2030年 10種類(+7種類)



貸切バス事業の持続可能性を高めしていく

- 当社事業の継続には、従業員の健康が第一であることから、従業員の健康を配慮した制度や仕組み（健康診断項目追加、感染症予防、ストレスチェック、新たな休暇制度、福利厚生の充実、他）を導入していきます。
- 多様な働き方に関する制度も更に充実させていき、ドライバーを含む女性従業員数を増加させていくほか、女性管理職の育成にも力を入れていきます。
- 安全、安心へのこだわりとして、運転技能研修（教習所、雪山、他）の実施回数を増やしていくことに加え、様々な支援策を行うことで、ドライバーを含めた『運行管理責任者』の資格保有者を増加させていきます。
- 社内コミュニケーション活発化のために、社内イベントを定期的で開催していきます。

【指標】

従業員の健康を配慮した制度の導入数 ⇒ 2030年 6件
 女性従業員の数と女性管理職の数 2025年 6名/1名 ⇒ 2030年 10名(+4名)/4名(+3名)
 コミュニケーションを活性化する社内イベントの数 ⇒ 2030年 1回/年
 運転技能研修実施回数 2025年 1回/年 ⇒ 2030年 3回/年(+2回/年)
 運行管理者資格の保有者数 2025年 5名 ⇒ 2030年 11名(+6名)



地域や環境にやさしい経営を大切にする

- 会社全体としてCO2排出量の削減（環境配慮型車両（バス）への入れ替え、省エネ運転、事務所の省エネ、他）に取り組んでいきます。
- 業務の効率化や電子化を進め、更に一段とペーパーレス化を進めていきます。

【指標】

環境配慮型車両（バス）の比率 2025年 15% ⇒ 2030年 92%(+77%)

